

ふるさと「阿南市」のすばらしい魅力を再発見!



日替わり科学工作「かさ袋ロケットを作ろう」のようす

発行/令和元年(2019年)7月1日 [732号]  
 編集/阿南市企画部秘書広報課 〒774-8501 阿南市富岡町トノ町12番地3 ☎08984-22-1110 FAX08984-22-4090 e-mail: hisho@anani.tokushima.jp  
 印刷/米崎印刷株式会社



プラコップの宙返りをお父さんと実践!



LEDで回路を楽しもう

市民の皆さまに科学や自然の楽しさに触れ合ってもらおうと、「子ども科学フェスティバル」が5月3日〜5日、科学センターで開催されました。科学センター開館時の平成10年より行われており、今年も親子連れや友だち同士で来館した735人が科学工作や実験を楽しみました。

フェスティバルの主な内容は、工作、実験、天体観望で、日替わりのメニューが用意されており、「LEDで回路を楽しもう」では、電気に関することを軸に、エジソンの白熱電球から、蛍光灯、LEDまでの歴史や徳島県とのつながりをたどったり、電気の実験を行ったりしました。

音と光による放電の実験を熱心に見ていた平瀬智大さん(9歳・羽ノ浦町)は、「10万ボルトの放電が印象的。(誘導コイル電極間の)長さにより電圧が増えていった。楽しかった」と話し、電気の可視化などの実感を伴う理解が、より科学への興味を引き出しました。

今年の一館長を勤めたのは小西琉雅さん(11歳・那賀川町)で、よく天体観望会に参加しており、科学の面白さを知っている適任者。市民参加型のイベント



ゴールデンウィーク天体観望会にて



よく回る! CDゴマを作ろう!

をめぐし、来場した子どもたちに、科学の伝道者の役を務めました。

科学センター職員の高 壽夫さんと村和義さんは、「元号も変わり、新しい時代となりました。科学技術は日進月歩であり、この子ども科学フェスティバルが、例えば科学者など、子どもたちの将来の夢を持つきっかけになればと思います」と思いを語っていました。

今回のゴールデンウィークに加え、夏休みにサマーサイエンススクール、秋に科学の祭典、科学の講座など、季節ごとにイベントの開催を予定しているほか、「おもしろ科学実験」「夜間天体観望会」は常時開催されています。

科学センターは、今後も科学の面白さを皆さまに発信していきます。

ぜひご期待・ご来場ください!

阿南市科学センター

那賀川町上福井南川  
 8番地1

【利用時間】9:30 ~ 16:00  
 (体験館および自然観察園)

【休館日】毎週月曜日  
 (祝日の場合は翌日)、  
 年末年始(12/29~1/3)

【問い合わせ】  
 科学センター(☎42-1600)